漁業取締船きらかぜの仕様及び現況に関する質問と回答　　令和8年10月28日現在

整理番号	質問受付日	質問内容	回答
1	令和8年9月29日	入札案内45ページにおいて、現在の速力は31~32ノットとあるが、その速力時のエンジンの回転数と燃料消費量（L/ｈ）を教えてほしい。	【エンジン回転数1920rpmで平均32ノット】 速力は燃料の搭載量により、かなり変化します。 1920rpm時のエンジン出力が、平均約90%近くになるため、現在、この領域で使用しています。 燃料消費量については、流量計ではなくタンク残量で確認しているため、正確な数値はお答えできませんが、上記の出力時で【約1,000ℓ/h】
2	令和8年9月29日	エンジンの回転数を最大まで上げた状態の船の最高速度が31~32ノットという理解で良いか。 もしそうではない場合は、最高速度およびその時の燃料消費量（L/h）を教えてほしい。	エンジン出力を100%まで上げて1時間近く航行したことが近年ないため、現況の回転数最大時の最高速度についてははっきりとした数値はお答えできません。参考までに建造当時の「海上運転成績表」のデータを添付します（資料１、２）が、現況とは異なる恐れがあります。
3	令和8年9月29日	エンジンの竣工日から質問日現在までの総運転時間を教えてほしい。	9月30日現在、右舷主機関が【7969時間】 9月30日現在、左舷主機関が【7960時間】
4	令和8年9月29日	エンジンのオーバーホールを最後に行った日と、オーバーホールを最後に行った日から質問日までの運転時間を教えてほしい。	右舷主機関がR3(2021)年3月で[6811時間]の時 左舷主機関がH29(2016)年3月で[5547時間]の時 右舷主機関が(7969h-6811h)で【1158時間】 左舷主機関が(7960h-5547h)で【2413時間】
5	令和8年10月27日	船舶件名表を確認したい。	HPに掲載します。
6	令和8年10月27日	定期検査の期限はいつまでか。	令和9年3月13日まで（入札案内34ページのとおり）。なお、無線局の検査は令和9年3月まで延期願を提出済み。

7	令和8年10月27日	きらかぜに搭載されているスタビスコープ（フジノン S1640）はきらかぜ本船とともに引き渡すか、それとも代船に引き継ぐか。	きらかぜに搭載されているスタビスコープ（フジノン　S1640）は全て代船に引き継ぐため、引き渡さない。
8	令和8年10月27日	操舵室内の機器類について、現在稼働していない機器はあるか。	漁業取締船用高精度位表示装置と近赤外線カメラは故障しており使用不可能。また、潮流計の画面が、表示はされるもののチラつく時あり。
9	令和8年10月27日	近赤外線カメラは使用不可能とのことだが、引渡し前に取り外すことはあるか。	取り外しは想定しておらず、搭載されたままの引き渡しとなる予定。
10	令和8年10月27日	きらかぜの完成図書はあるか。また引き渡されるか。	船内に1部あり、そちらについては引き渡し可能。県庁にもう一部あるが、そちらは引き渡し不可。
11	令和8年10月27日	シャワー室にバスはあるか。	バスは無く、シャワーのみ備付られている。
12	令和8年10月27日	船員室内のシュレッダー（アイリスオーヤマ　SH12H）、コピー機（コニカミノルタ　bizhubC368）はきらかぜとともに引渡すか、それとも代船に引き継ぐか。	どちらも引き継がない。きらかぜとともに引き渡す。
13	令和8年10月27日	燃油消費量について教えてほしい。1時間あたり軽油何kl消費するか。	フルスピードで走った場合、およそ軽油1kl/hour。なお、通常は出力約90%で運航している。
14	令和8年10月27日	フィンスタビライザーは機能しているか。	特に問題なく機能している。
15	令和8年10月27日	ウォータージェットのメーカーを教えてほしい。	カメワ製。
16	令和8年10月27日	バッテリーはいつ交換したか。	令和3年に交換しており、約5年が経過している。
17	令和8年10月27日	乗下船用のタラップは引渡してもらえるか。	代船では使用しないので、引き渡し可能。
18	令和8年10月28日	漁業取締船用高精度位表示装置は故障しているとのことだが、引渡し前に取り外すことはあるか。	取り外しは想定しておらず、搭載されたままの引き渡しとなる予定。
19	令和8年10月28日	ウォータージェットに不具合はあるか。	特になし。

20	令和8年10月28日	フルスピードで走った場合、何時間燃料は持つか。	フルスピードで走った場合、軽油の消費量はおよそ1kl/hourなので、その場合はおよそ20時間まで。 なお、通常は出力約90%で運航している。
21	令和8年10月28日	最後にドック入りしたのはいつか。	令和8年9月のペンドック。
22	令和8年10月28日	定期検査の費用は、全体でおよそいくらかかったか。	最後の定期検査は令和3年に実施し、当時は、甲板部と機関部合わせておよそ7,800万円だった。
23	令和8年10月28日	船体にサイドスラスターはあるか。	サイドスラスターはない。
24	令和8年10月28日	潮流計及び魚群探知機はきらかぜとともに引き渡すか。それとも代船に引き継ぐか。	潮流計及び魚群探知機は引き継がないので、きらかぜとともに引き渡す。